

政策ビジョン工程計画 (自己評価表)

平成30年7月

子どもたちの笑顔があふれ

4Sのまちづくり

安全安心で人にやさしいまちをめざして



豊川市

1 政策ビジョン項目別評点一覧

Smile 笑顔 「子育てするなら豊川市」といわれるまち

実施事業（9事業）評点一覧・・・P.4～P.16

	評点
① 妊娠出産期の母子支援事業を充実します	5.0
② 幼稚園の教育環境の充実と保護者負担の軽減を図ります	5.0
③ 児童クラブ室を計画的に増設します	4.0
④ 保育の充実と保育所の入所制度を改善します	4.0
⑤ 小中学校の普通教室に空調設備を導入します	4.0
⑥ 英語教育を充実し、国際社会で通用する人材を育てます	4.0
⑦ 部活動活性化のため、外部指導者の活用を充実します	4.0
⑧ 参加者、観客数の多いスポーツイベントの開催を支援します	4.0
⑨ 質の高い音楽、演劇、美術に市民がふれる機会を増やします	4.0

「子育てするなら豊川市」といわれるまち
21.1 / 25

38.0 / 45

Safety 安心 安全安心で活気あふれるまち

実施事業（10事業）評点一覧・・・P.17～P.29

	評点
⑩ 防災教育の場も兼ねた防災センターを整備します	4.0
⑪ 高規格救急車の増車など救急体制を強化します	5.0
⑫ 交通安全施設として歩道、自転車道を整備します	3.0
⑬ 宝飯地区の市街化調整区域の公共下水道等の整備を進めます	4.0
⑭ 豊川海軍工廠跡地に平和公園を整備します	5.0
⑮ 赤塚山公園「市民のスクエア」を人工芝化します	5.0
⑯ 産業振興のため、商工会議所、農協等との連携をより深めます	4.0
⑰ 鉄道駅を活かしたまちづくりを進めます	4.0
⑱ 雇用の創出に向けた新規工業用地を開発します	3.0
⑲ 市外から指定地区への転入者に対し固定資産税額分の一部を助成します	5.0

安全安心で活気あふれるまち
21.0 / 25

42.0 / 50

Soft やさしさ 人にやさしく健康で自然と共生したまち

実施事業（7事業）評点一覧・・・P.30～P.40

	評点
⑳ 市民病院に救命救急センターを設置します	3.0
㉑ 障がい者の相談事業や就労支援を充実します	3.3
㉒ 在宅医療・介護連携にかかる体制を構築します	4.0
㉓ 高齢者の介護予防事業や相談事業を充実します	4.5
㉔ がんの予防、早期発見のためがん検診を充実します	4.0
㉕ 清掃工場焼却炉の長寿命化を図ります	4.0
㉖ 再生可能エネルギーの普及啓発と導入支援に努めます	3.5

人にやさしく健康で 自然と共生したまち
18.7 / 25

26.3 / 35

Simple わかりやすさ わかりやすく、無駄のない行政

実施事業（7事業）評点一覧・・・P.41～P.50

	評点
㉗ 一般会計市債残高を50億円削減します	5.0
㉘ 職員の企画立案能力、住民対話力を高めます	3.0
㉙ 公共施設の総量削減と適正配置を進めます	4.0
㉚ 東三河広域連合を始め東三河8市町村の連携を強化します	4.0
㉛ ボランティア・NPOの人材育成と運営支援を進めます	3.3
㉜ 地域の伝統継承事業に支援します	5.0
㉝ 防犯防災に対するコミュニティづくりを支援します	5.0

わかりやすく、 無駄のない行政
20.9 / 25

29.3 / 35

市長政策ビジョン 総合評点
81.7 / 100

2 工程計画（自己評価表）の見方

項目番号 1 ○○○○○○ **政策ビジョンの33項目の内容**

年度ごとの取組内容、実施（達成）時期

- 検討、調整、準備、段階的实施
- >>>> 既存の取組
- >>>> 政策ビジョンによる取組実施

連番	実施内容	27年度					連携の状況			担当部課
		下段は、各年度の財源（見込み）					政策間	地域間	官民	
○	政策ビジョンを実現するために取組む47事業の実施内容	○	○	○	○	○				○部 ○課
		>>>>	>>>>	>>>>	>>>>	>>>>				
		.	*.*	*.*	—					

整理の都合上、付番した連番

事業の主な実施状況について進捗を測るため活動指標を設定しています。

年度ごとの事業費見込額

政策間・地域間・官民について連携している事業は、該当

実施事業に係る活動指標		区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
指標名	内容		計画値	*件	*件	*件	*件
○○○	○○○○○	実績値	*件	*件	*件	*件	

() 書きの場合、平成30年度予算に計上された活動予定の数

(進捗状況)


前年度までの実施状況、課題、連携の内容等	今年度の取り組み及び今後の行動等
平成29年度の実施状況を記載しています。	平成30年度以降の取組みについて、実施中の内容や予定している内容、方針を記載しています。

(評価)

事業の成果等	進捗状況に対する自己評価(評点)
事業実施による成果を記載するとともに現在までの進捗	<p>平成29年度の評価を下記のとおり5点満点で行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 5 工程計画を実行し、事業の完了または目的達成 4 工程計画より早い又は内容(効果)を超えた実施 3 工程計画どおりの実施 2 工程計画より遅い又は内容に満たない実施 1 工程計画よりかなり遅い又は内容に満たない実施 0 工程計画が頓挫している事業・中止と判断した事業
	H30
	H31

Smile 笑顔「子育てするなら豊川市」といわれるまち

項目番号 2【幼稚園の教育環境の充実と保護者負担の軽減を図ります】

連番	実施内容	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	連携の状況			担当部課
		下段は、各年度の財政所要額(見込み) 単位:百万円					政策間	地域間	官民	
3	私立幼稚園に対する運営費補助を拡充します。	私立幼稚園運営費補助の拡充								子ども健康部 保育課
										
		3.4	3.8	3.8	3.4	3.4				

実施事業に係る活動指標		区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
指標名	内容		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
運営費補助の拡充	私立幼稚園に対する運営費補助の拡充	目標値		園児割750→1,000円	園児割750→1,000円	園児割750→1,000円	園児割750→1,000円
		実績値		園児割750→1,000円	園児割750→1,000円	(園児割750→1,000円)	

(進捗状況)

前年度までの実施状況、課題、連携の内容等	今年度の取り組み及び今後の行動等
<p>平成28年度に市内の私立幼稚園が教育を行うために必要となる費用に対する運営費補助のうち、園児割の補助単価を引き上げ(750円/人から1,000円/人)、教育の振興を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営費:園割300,000円/園+園児割1,000円/人×人数 ・図書購入費:園割75,000円/園 <p>市内幼稚園の教育水準の維持向上と経営の安定化を図るためには、補助制度の見直しを随時図っていく必要がある。</p>	<p>拡充した園児割の補助単価を平成30年度も継続し、引き続き教育水準向上のために幼稚園の負担軽減を図る。</p> <p>また、幼児教育無償化に向けた国の動向に注視し、補助制度の見直しを図る。</p>

(評価)

事業の成果等	進捗状況に対する自己評価(評点)		
<p>幼稚園への運営費補助により、教育環境が維持向上して教育の振興が図られた。</p> <p>■補助事業実績(平成29年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛知双葉幼稚園:園児用備品(遊具)購入 553,000円+図書購入 75,000円 ・光明寺幼稚園:監視カメラシステムの導入 473,000円+図書購入 75,000円 ・西明寺幼稚園:保育室照明器具取替 660,000円 ・豊川幼稚園:園児用備品(小型箱積木等)購入 551,000円+図書購入 75,000円 ・豊川東幼稚園:園児用備品(ロッカー)購入 401,000円+図書購入 75,000円 ・花井幼稚園:自動火災報知機設備工事 507,000円+図書購入 75,000円 			
	平成28年度に私立幼稚園に対する運営費補助の拡充を行い、現在も継続中である。	H29	5
		H30	5
	H31		

Smile 笑顔「子育てするなら豊川市」といわれるまち

項目番号 3【児童クラブ室を計画的に増設します】

連番	実施内容	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	連携の状況			担当部課
		下段は、各年度の財政所要額(見込み) 単位:百万円					政策間	地域間	官民	
5	児童クラブの利用を希望する小学6年生までの児童全員を受け入れるために、平成31年度までに児童クラブ室を整備します。	児童クラブの新設・移転・分割					○		○	子ども健康部 子育て支援課
		265.0	257.2	300.8	349.5	395.0				

実施事業に係る活動指標		区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
指標名	内容		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
クラブ数(委託)	市が保育協会に運営を委託する児童クラブの数	目標値	25箇所	27箇所	31箇所	35箇所	38箇所
		実績値	25箇所	27箇所	31箇所	(34箇所)	
クラブ数(補助)	保護者会が運営し、市がその運営費の一部を補助する児童クラブの数	目標値	6箇所	6箇所	6箇所	6箇所	8箇所
		実績値	6箇所	6箇所	6箇所	(6箇所)	
クラブ数(直営)	市が直接運営する児童クラブの数	目標値					
		実績値				(1箇所)	

(進捗状況)

前年度までの実施状況、課題、連携の内容等	今年度の取り組み及び今後の行動等
<p>教育委員会庶務課と連携を図り平成29年4月から児童クラブ室を4箇所増設した。 また、事業の実施においては、保育協会及び保護者会と密接に連携をとりながら、放課後児童健全育成事業の進捗を図った。</p>	<p>放課後児童クラブを4クラブ増設(分割、移設等) ・保育協会委託・・・3クラブ増設(中部第3・代田第3・御油第2) ・直営・・・1クラブ増設(国府第3)</p>

(評価)

事業の成果等	進捗状況に対する自己評価(評点)		
<p>放課後における児童の生活の場として、安全・安心で良好な生活環境を提供することができている。</p> <p>◆児童クラブ数 ■開設箇所数 31箇所(平成29年4月に4クラブ増設) ・保育協会委託 3箇所増設(牛久保第2、国府第2、豊第2) ・保護者会補助 1箇所増設(小坂井フラップクラブ) ※秋児童クラブを保護者会補助から保育協会委託へ移管(平成29年4月)</p> <p>■利用児童数 対前年度 5.7%(879人)の増</p>	<p>工程計画に沿ってクラブ数が拡大していると評価する。</p>	H29	3
		H30	4
		H31	

Smile 笑顔「子育てするなら豊川市」といわれるまち

項目番号 4【保育の充実と保育所の入所制度を改善します】

連番	実施内容	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	連携の状況			担当部課
		下段は、各年度の財政所要額(見込み) 単位:百万円					政策間	地域間	官民	
7	産休・育休明けの保護者が年度途中でも安心して職場復帰できるように保育所への入所決定を早い段階で行う仕組みを構築します。		検討	段階的实施	本格実施					子ども健康部 保育課
				12.0	30.0	30.0				

実施事業に係る活動指標		区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
指標名	内容		目標値				
産休・育休予約入所	産休・育休予約入所者数	目標値			20人	50人	50人
		実績値			16人(20人)	32人(35人)	

()内は定員数

(進捗状況)

前年度までの実施状況、課題、連携の内容等	今年度の取り組み及び今後の行動等
<p>育休復帰時に公立、民間問わず保育所入所予約承諾をした児童を受入れる制度を平成29年度から実施し、育休明けの保護者が安心して職場復帰できるような仕組みを構築した。入所予約の枠数を増やすことで、入所予約を利用できない者の入所を過度に妨げることのないようにすることが課題である。</p>	<p>平成30年度途中入所の育休明け保育所入所予約の申込みについて、53名を受付し、うち32名に保育所入所予約承諾をした。25園35名の枠を用意したが、うち3園については入所希望がなかった。このため、平成31年度途中入所に向け、今年度の状況及び本制度を利用できない者との不公平が生じないよう、入所予約枠数の増設について検討していく。また、平成29年10月から育児休業も最長2年となったため、その影響を考慮した仕組みを検討する。</p>

(評価)

事業の成果等	進捗状況に対する自己評価(評点)		
早い段階で保育所への入所決定を行う制度・仕組みを構築することにより、育休明けの保護者が安心して職場復帰できる環境整備が図られる。	育休明け保育所入所予約制度が構築でき、本格実施に向けて進捗していると評価する。	H29	4
		H30	4
		H31	

Smile 笑顔「子育てするなら豊川市」といわれるまち

項目番号 5【小中学校の普通教室に空調設備を導入します】

連番	実施内容	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	連携の状況			担当部課
		下段は、各年度の財政所要額(見込み) 単位:百万円					政策間	地域間	官民	
8	平成31年度までに小中学校の普通教室に空調設備を設置します。									教育委員会 庶務課
		28.0	33.0	722.0	—	—				

実施事業に係る活動指標		区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
指標名	内容		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
空調設備設置事業	基本設計業務委託	目標値	一式	一式			
		実績値	一式	一式			
空調設備設置事業	実施設計業務委託	目標値		一式	一式		
		実績値		一式	一式		
空調設備設置事業	空調設備設置工事実施校数	目標値			10校	12校	11校
		実績値			10校	(12校)	

(進捗状況)

前年度までの実施状況、課題、連携の内容等	今年度の取り組み及び今後の行動等
<p>小中学校の普通教室に空調設備を設置するための実施設計業務委託を完了した。また、中学校10校に空調設備を設置した。 小学校2校について、校舎改修工事の中で空調設備を設置した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度 小学校12校に空調設備設置工事 平成31年度 小学校11校に空調設備設置工事 <p>別に小学校1校については、校舎改修工事の中で、平成31年度までに空調設備設置を行う。</p>

(評価)

事業の成果等	進捗状況に対する自己評価(評点)	
空調設備設置事業を実施することにより、子どもたちの学習環境の改善が図られる。	H29	3
	H30	4
	H31	

Smile 笑顔「子育てするなら豊川市」といわれるまち

項目番号 6【英語教育を充実し、国際社会で通用する人材を育てます】

連番	実施内容	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	連携の状況			担当部課
		下段は、各年度の財政所要額(見込み) 単位:百万円					政策間	地域間	官民	
9	小学校での英語科設立や中学校でのオールイングリッシュ授業の開始に向け、DVD教材の購入、教員の研修、イングリッシュ・デイキャンプを実施します。	教材の充実 オールイングリッシュ授業に向けた教員研修 イングリッシュ・デイキャンプの実施								教育委員会 学校教育課
			2.1	1.1	0.2	0.2				

実施事業に係る活動指標		区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
指標名	内容						
研修会	研修会の回数	目標値		2回	2回	2回	2回
		実績値		4回	3回	(3回)	
教材用DVD	DVD教材の購入	目標値		一式	一式		
		実績値		一式	一式		
イングリッシュ・デイキャンプ	開催回数	目標値		1回【3日間】	1回【3日間】	1回【3日間】	1回【3日間】
		実績値		1回【3日間】	1回【3日間】	(1回【3日間】)	

(進捗状況)

前年度までの実施状況、課題、連携の内容等	今年度の取り組み及び今後の行動等
小学校教員と中学校英語教員を対象とした英語教育研修会を実施するとともに、小学校の教員を対象とした英語活動部の授業研修や小中学校で授業研究会を実施した。 また、全小学校に教材用DVDを配付するとともに、高校生・大学生ボランティアの参加を得てイングリッシュ・デイキャンプを実施した。	引き続き小学校教員と中学校英語教員を対象とした英語教育研修会を実施するとともに、小学校の教員を対象とした英語活動部の授業研修や小中学校で授業研究会を実施する。 また、8月にイングリッシュ・デイキャンプを実施する(小学5年生から中学3年生までの児童生徒)。

(評価)

事業の成果等	進捗状況に対する自己評価(評点)			
英語授業の改善、英語に慣れ親しむ環境整備、英語教育の充実を図ることで、児童生徒の英語への意欲関心を高められるとともに、将来、国際社会で必要となる基礎的な会話力、コミュニケーション力の向上が図られる。 ■ 研修会の内訳 ・小学校教員と中学校英語教員を対象に英語教育研修会を実施(参加者196名) ・小学校の教員を対象に英語活動部の授業研修(参加者87名) ・小学校と中学校にて授業研究会開催(2回開催) ■ 教材用DVD ・全小学校(26校)にDVD配付 ■ イングリッシュ・デイキャンプ ・イングリッシュ・デイキャンプを実施(参加者:小学生24名、中学生12名)	工程計画に沿って英語教育の充実が、効果的に進んでいると評価する。	H29	4	
			H30	4
			H31	

Smile 笑顔 「子育てするなら豊川市」といわれるまち

項目番号 6 【英語教育を充実し、国際社会で通用する人材を育てます】

連番	実施内容	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	連携の状況			担当部課
		下段は、各年度の財政所要額(見込み) 単位:百万円					政策間	地域間	官民	
10	小学校での外国語教育の充実を図るため、英語指導助手を平成29年度から毎年2名ずつ増員し、16名にします。	英語指導助手を毎年2名ずつ増員								教育委員会 学校教育課
		47.9	48.3	57.6	67.0	76.3				

実施事業に係る活動指標		区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
指標名	内容						
英語指導助手(AET)人数	英語指導助手(AET)の人数	目標値	10人	10人	12人	14人	16人
		実績値	10人	10人	12人	(14人)	

(進捗状況)

前年度までの実施状況、課題、連携の内容等	今年度の取り組み及び今後の行動等
<p>1名のAETが中学校1校と小学校数校を受け持ち、12名で市内36校を分担して授業を行った。小学校では1クラス年間15時間、中学校では1クラス年間15時間以上の授業を担当した。AETの授業力アップのために月に一回の研修を行った。 平成30年度に向けてAET2名を増員できた。</p>	<p>平成32年に小学校中学年に外国語活動(週に1時間)が新設されることや、高学年の教科化に向けて、平成31年度まで毎年2名ずつAETの増員を行う。</p>

(評価)

事業の成果等	進捗状況に対する自己評価(評点)			
<p>平成30年度に向けてAET2名を増員できた。 児童生徒が積極的に外国語を学ぶ環境の構築が促進され、「AETと楽しく英語を使った活動ができた」というアンケートに5段階評価の4または5をつけている児童生徒の割合が小学校は7割以上、中学校は6割に近づいている。</p> <p>・小学校:平成25年度(70.6%)、平成26年度(70.7%)、平成27年度(71.2%)、平成28年度(73.0%)、平成29年度(71.8%) ・中学校:平成25年度(49.4%)、平成26年度(49.2%)、平成27年度(54.5%)、平成28年度(56.4%)、平成29年度(59.2%)</p>	工程計画に沿って増員されていると評価する。	H29	3	
			H30	4
			H31	

Smile 笑顔「子育てするなら豊川市」といわれるまち

項目番号 7【部活動活性化のため、外部指導者の活用を充実します】

連番	実施内容	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	連携の状況			担当部課
		下段は、各年度の財政所要額(見込み) 単位:百万円					政策間	地域間	官民	
11	中学校の部活動において、専門的な知識や技能を持つ外部指導者の派遣日数を拡充します。	外部指導者派遣日数の拡充							○	教育委員会 学校教育課
		2.3	2.9	2.9	3.5	3.5				

実施事業に係る活動指標		区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
指標名	内容		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
指導者派遣	市内中学校に派遣した部活動外部指導者の人数と延べ回数	目標値	30人【450回】	30人【600回】	30人【600回】	30人【750回】	30人【750回】
		実績値	30人【445回】	30人【600回】	30人【600回】	(30人【750回】)	

(進捗状況)

前年度までの実施状況、課題、連携の内容等	今年度の取り組み及び今後の行動等
<p>平成29年度は、1回2時間の指導を年間20回、延べ600回の実績をあげることができた。全ての中学校において、部活動の外部指導者に指導をしていただいた。運動部25人、文化部5人、計30人だった。</p> <p>専門的な知識や技能を有する部活動外部指導者を配置することに対し、中学校現場からの要望は年々高まっている。</p>	<p>引き続き年間の派遣日数を拡充する。</p> <p>・平成30年度から 年間の派遣日数を20日から25日に拡充</p>

(評価)

事業の成果等	進捗状況に対する自己評価(評点)	
<p>専門的な知識や技能を有する地域の人材を活用することで、部活動の更なる活性化につながるとともに顧問の技術指導という面でも、役に立っている。</p>	工程計画に沿って内容が拡充していると評価する。	H29 3
		H30 4
		H31

Smile 笑顔「子育てするなら豊川市」といわれるまち

項目番号 9【質の高い音楽、演劇、美術に市民がふれる機会を増やします】

連番	実施内容	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	連携の状況			担当部課
		下段は、各年度の財政所要額(見込み) 単位:百万円					政策間	地域間	官民	
13	質の高い文化芸術に触れる機会として、オーケストラコンサートなどを文化会館で開催するとともに、展覧会や舞台公演を充実します。									市民部 文化振興課
		33.4	44.7	39.6	51.6	39.6				

実施事業に係る活動指標		区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
指標名	内容						
オーケストラ(文化会館大ホール)	文化会館大ホールでのオーケストラの公演実施	目標値				1	
		実績値				(1)	

(進捗状況)

前年度までの実施状況、課題、連携の内容等	今年度の取り組み及び今後の行動等
<p>質の高い文化芸術をより多くの市民に見ていただくため、幅広いジャンルの公演を実施した。桜ヶ丘ミュージアムでは、美術、歴史に関する企画展を計画どおり実施した。</p>	<p>ブラハ交響楽団による演奏会の開催等、質の高い文化芸術を幅広いジャンルで実施していくとともに大ホールを利用した大規模かつ、集客が見込める公演も実施していく。桜ヶ丘ミュージアムでは、質の高い展覧会、多くの来館者が見込める展覧会を企画していく。</p>

(評価)

事業の成果等	進捗状況に対する自己評価(評点)		
<p>質の高い音楽や芸術に触れる機会を提供することで文化への関心を高め文化度の向上が図られる。</p> <p>■平成29年度実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公演実施数 大ホール 1本 大ホール以外 19公演 ・コンサート(クラシック、ジャズ、声楽、打楽器、津軽三味線)、演劇、日本舞踊、落語、ジャグリング、海外公演等、様々なジャンルを、親子向けも含めて実施した。 ・桜ヶ丘ミュージアムにおける企画展の実施 8本(美術系6本、歴史系2本) ・絵画、書、写真、陶芸立体作品等に加え、新規にサブカルチャーの展覧会など、幅広いニーズに沿った展覧会を実施した。 			
	<p>ブラハ交響楽団による演奏会や、質の高い展覧会などを企画しており、工程計画に沿って進んでいると評価する。</p>	H29	3
		H30	4
	H31		

Safety 安心 安全安心で活気あふれるまち

項目番号 10 【防災教育の場も兼ねた防災センターを整備します】

連番	実施内容	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	連携の状況			担当部課
		下段は、各年度の財政所要額(見込み) 単位:百万円					政策間	地域間	官民	
14	防災教育の場も兼ねた防災センターを整備します。									企画部 防災対策課
			2.3	36.4	—	—				

実施事業に係る活動指標		区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
基本方針	建設基本方針の策定	目標値	一式				
		実績値	一式				
基本計画	建設基本計画の策定	目標値		一式			
		実績値		一式			
基本設計	建設基本設計の実施	目標値			一式		
		実績値		一式			
実施設計	建設実施設計の実施	目標値			一式		
		実績値			一式		
建設工事	建設工事の実施	目標値				一式	一式
		実績値				(一式)	

(進捗状況)

前年度までの実施状況、課題、連携の内容等	今年度の取り組み及び今後の行動等
<p>平成28年2月に策定した基本方針に基づき、配置計画、平面計画、断面計画、構造計画、設備計画といった施設整備に必要な諸条件を整理した基本計画を策定し、平成28年度の防災会議に報告した。また、平成28年12月補正予算で基本設計に着手し、平成29年度に実施設計を行った。</p>	<p>基本計画、基本設計及び実施設計をもとに、平成30年度から平成31年度にかけて建設工事を実施する。</p>

(評価)

事業の成果等	進捗状況に対する自己評価(評点)	
<p>防災センターの整備、活用により大規模災害発生時に災害対策本部の活動を迅速かつ円滑に行える体制が強化されるとともに、市民の防災意識の高揚および防災知識、技能の普及啓発が図られる。</p>	工程計画に沿って進んでいると評価する。	H29 4
		H30 4
		H31

Safety 安心 安全安心で活気あふれるまち

項目番号 11 【高規格救急車の増車など救急体制を強化します】

連番	実施内容	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	連携の状況			担当部課
		下段は、各年度の財政所要額(見込み) 単位:百万円					政策間	地域間	官民	
15	平成28年度に消防署本署へ高規格救急車を1台増車し、6台体制で運用を行います。	高規格救急車の増車 ▶▶▶▶▶▶								消防本部 総務課
			32.8							

実施事業に係る活動指標		区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
指標名	内容		目標値	実績値			
車両等整備	高規格救急自動車(高度救命処置用資機材含む)の新規購入台数	目標値		1台			
		実績値		1台			

(進捗状況)

前年度までの実施状況、課題、連携の内容等	今年度の取り組み及び今後の行動等
高規格救急自動車6台体制での運用を行った。	高規格救急自動車6台体制を維持するとともに、救急出動件数の増加に伴う現場到着時間の遅延を是正し、救命率の向上を目指す。

(評価)

事業の成果等	進捗状況に対する自己評価(評点)	
高規格救急自動車6台体制としたことで、救急出動件数の増加に伴う現場到着時間の遅延を是正し、救命率の向上を図るための体制が強化された。	H29	5
	H30	5
	H31	

Safety 安心 安全安心で活気あふれるまち

項目番号 12【交通安全施設として歩道、自転車道を整備します】

連番	実施内容	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	連携の状況			担当部課
		下段は、各年度の財政所要額(見込み) 単位:百万円					政策間	地域間	官民	
16	都市計画道路桜町千両線の自転車・歩行者道を整備するとともに、市内道路にカラー舗装を整備し、歩行者などの交通安全を図ります。									建設部 道路建設課 道路維持課
		4.5	41.6	9.6	116.3	121.8				

実施事業に係る活動指標		区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
指標名	内容						
測量設計業務委託	用地測量・実施設計	目標値		一式			
		実績値		一式			
土地鑑定評価業務委託等	土地鑑定評価	目標値			一式		
		実績値			一式		
用地取得	用地買収・補償	目標値				一式	
		実績値				(一式)	
歩道設置工事	歩道設置工事延長	目標値					720m
		実績値					
カラー舗装の整備	整備を実施した小学校区数	目標値	2校区	2校区	4校区	2校区	2校区
		実績値	2校区	2校区	6校区	(2校区)	

(進捗状況)

前年度までの実施状況、課題、連携の内容等	今年度の取り組み及び今後の行動等
<p>都市計画道路桜町千両線については、土地鑑定評価を実施し、用地買収に向けての調整を行った。また、歩道沿いの桜並木の保存方法を考慮し、事業区間を分割して都市計画法の事業認可を受けた。</p> <p>カラー舗装の整備については、整備計画に基づく工程を前倒し、平成29年度は6小学校区(代田小、小坂井東小、桜町小、一宮西部小、金屋小、豊小)の路肩カラー舗装を行った。また、カラー舗装の修繕を2箇所実施した。</p>	<p>都市計画道路桜町千両線については、今年度は路線北側の用地買収を実施する。今後は全体延長1.2kmの内、北側の約320mについて工事を実施する予定である。</p> <p>カラー舗装の整備については、整備計画に基づき、毎年2小学校区の路肩カラー舗装の整備を行っていく。</p>

(評価)

事業の成果等	進捗状況に対する自己評価(評点)		
<p>都市計画道路桜町千両線は事業化に向けた手続きを進めることができた。</p> <p>路肩カラー舗装の整備により歩行者の路肩への誘導と、車両に対する速度抑制や注意喚起の効果が向上した。</p>	工程計画に沿って進んでいると評価する。	H29	3
		H30	3
		H31	

Safety 安心 安全安心で活気あふれるまち

項目番号 13 【宝飯地区の市街化調整区域の公共下水道等の整備を進めます】

連番	実施内容	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	連携の状況			担当部課
		下段は、各年度の財政所要額(見込み) 単位:百万円					政策間	地域間	官民	
17	一宮(東上・本村)地区の公共下水道整備を平成27年度に完了し、引き続き音羽(萩)地区、御津(豊沢、赤根、下佐脇、広石)地区、小坂井(宿・白山、宿・中島、伊奈佐脇原)地区の市街化調整区域の公共下水道を計画的に整備します。									上下水道部 下水整備課
		102.6	242.3	351.0	335.0	310.0				

実施事業に係る活動指標		区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
指標名	内容		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
基本設計・実施設計	平成27年度(音羽地区、小坂井地区の実施設計) 平成28年度(御津地区の基本設計) 平成29年度以降(御津地区の実施設計)	目標値	一式	一式	一式	一式	一式
		実績値	一式	一式	一式		
一宮地区の公共下水道整備	整備延長	目標値	1,036m				
		実績値	1,036m				
音羽地区の公共下水道整備	整備延長	目標値		1,750m	3,293m	1,275m	1,900m
		実績値		1,750m	3,293m	(1,275m)	
御津地区の公共下水道整備	整備延長	目標値				681m	3,260m
		実績値				(681m)	
小坂井地区の公共下水道整備	整備延長	目標値	12m	795m	3,138m	2,159m	
		実績値	12m	795m	3,138m	(2,159m)	

(進捗状況)

前年度までの実施状況、課題、連携の内容等	今年度の取り組み及び今後の行動等
音羽(萩)地区、小坂井(宿・白山、宿・中島、伊奈佐脇原)地区について、概ね計画どおり整備を実施した。平成30年度からの整備に伴う、御津(豊沢)地区の実施設計業務委託を実施した。事業の進捗を図るため、前倒しにより平成30、31年に予定していた御津(赤根、下佐脇)の実施設計業務委託を実施した。	<ul style="list-style-type: none"> ■平成30年度の取り組み ・音羽(上萩)地区の説明会を実施。音羽(萩)地区、御津(豊沢、赤根)地区、小坂井(宿・白山、宿・中島、伊奈佐脇原)地区の整備。

(評価)

事業の成果等	進捗状況に対する自己評価(評点)	
<ul style="list-style-type: none"> ・一宮地区 整備延長 L=1,036m ・音羽地区 実施設計委託 一式、整備延長 L=5,043m ・小坂井地区 実施設計委託 一式、整備延長 L=3,945m ・御津地区 実施設計委託 一式 	工程計画に沿って進んでいると評価する。	H29 3
		H30 4
		H31

Safety 安心 安全安心で活気あふれるまち

項目番号 14 【豊川海軍工廠跡地に平和公園を整備します】

連番	実施内容	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	連携の状況			担当部課
		下段は、各年度の財政所要額(見込み) 単位:百万円					政策間	地域間	官民	
18	豊川海軍工廠平和公園を整備します。									建設部 公園緑地課
		33.6	880.3	318.8						

実施事業に係る活動指標		区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
設計等委託(建築工事)	交流施設、トイレ、東屋の設計	目標値	一式	一式			
		実績値	一式	一式			
設計等委託(土木工事)	園路、広場、給排水設備等の設計	目標値	一式				
		実績値	一式				
公園整備工事(建築工事)	トイレ、東屋の整備工事	目標値			一式		
		実績値			一式		
公園整備工事(造園工事)	園路、広場、給排水設備等の整備工事	目標値		一式	一式		
		実績値		一式	一式		
用地購入	用地(約3ha)の購入	目標値		一式			
		実績値		一式			

(進捗状況)

前年度までの実施状況、課題、連携の内容等	今年度の取り組み及び今後の行動等
<p>■平成29年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・植栽工をはじめとする園路や広場などの造園工事の実施 ・トイレ、東屋の建築工事の実施 	<p>■平成30年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年6月9日に供用開始。

(評価)

事業の成果等	進捗状況に対する自己評価(評点)	
現存する遺構などの保存公開を行うことで、市民に平和の尊さについて体験する場所を提供するだけでなく、市街地の緑を保全し、都市景観の向上が図られている。 予定する公園整備工事を完了することができた。	平成30年6月9日に開園したことにより、事業計画を達成したと評価する。	H29 3
		H30 5
		H31

Safety 安心 安全安心で活気あふれるまち

項目番号 14 【豊川海軍工廠跡地に平和公園を整備します】

連番	実施内容	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	連携の状況			担当部課
		下段は、各年度の財政所要額(見込み) 単位:百万円					政策間	地域間	官民	
19	豊川海軍工廠平和公園敷地内への交流施設の建設や残存遺構の保存整備を行うとともに、ボランティアガイドの育成を行います。									教育委員会 生涯学習課
			24.7	276.2						

実施事業に係る活動指標		区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
指標名	内容						
交流施設・残存遺構実施設計	交流施設建築工事・残存遺構保存整備工事の実実施設計作業の実施	目標値		一式			
		実績値		一式			
交流施設建築工事・残存遺構保存整備工事	交流施設建築工事・残存遺構保存整備工事の実施	目標値			一式		
		実績値			一式		
ボランティアガイド募集	ボランティアガイドの募集の実施	目標値		一式			
		実績値		一式			
ボランティアガイド養成講座	ボランティアガイド養成講座の実施	目標値			一式		
		実績値			一式		

(進捗状況)

前年度までの実施状況、課題、連携の内容等	今年度の取り組み及び今後の行動等
<ul style="list-style-type: none"> ■平和公園の供用開始にむけた取組み <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度に交流施設建築工事・残存遺構保存整備工事が完了した。 ■ボランティアガイドの育成にむけた取組み <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアガイド養成講座を実施し、約80名の応募者が受講を終えた。 ボランティアガイド登録者数 63名(平成30年6月9日現在) 	引き続き、ボランティアガイドの活動体制の構築を進めるとともに、来園者へのガイドや講座等の事業を実施する。

(評価)

事業の成果等	進捗状況に対する自己評価(評点)		
豊川海軍工廠の歴史や平和の尊さを伝えるための施設として利用が図られる。	H29	3	
	H30	5	
	H31		

Safety 安心 安全安心で活気あふれるまち

項目番号 15 【赤塚山公園「市民のスクエア」を人工芝化します】

連番	実施内容	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	連携の状況			担当部課
		下段は、各年度の財政所要額(見込み) 単位:百万円					政策間	地域間	官民	
20	市民のスクエアを人工芝化します。									建設部 公園緑地課
		5.0	225.5							

実施事業に係る活動指標		区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
指標名	内容		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
実施設計委託	多目的広場(人工芝化)の設計	目標値	一式				
		実績値	一式				
整備工事	多目的広場(人工芝化)の改修工事	目標値		一式			
		実績値		一式			
備品購入	人工芝化に伴い必要となる備品の購入	目標値		一式			
		実績値		一式			

(進捗状況)

前年度までの実施状況、課題、連携の内容等	今年度の取り組み及び今後の行動等
<ul style="list-style-type: none"> ■平成27年度 実施設計を行った。 ■平成28年度 改修工事にて事業完了 ■平成29年度 使用開始 	

(評価)

事業の成果等	進捗状況に対する自己評価(評点)	
「市民のスクエア」の人工芝化により、利用者の利便性および安全性の向上が図られた。	H29	5
	H30	5
	H31	

Safety 安心 安全安心で活気あふれるまち

項目番号 16 【産業振興のため、商工会議所、農協等との連携をより深めます】

連番	実施内容	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	連携の状況			担当部課
		下段は、各年度の財政所要額(見込み) 単位:百万円					政策間	地域間	官民	
21	豊川商工会議所等との連携により、おいでん祭を始めとした各種イベントや市内における創業・起業、中小企業への経営支援を実施するとともに、各種産業振興策の見直し、改善を図ります。	各種産業振興策について連携							○	産業部 商工観光課
		76.6	97.1	101.4	100.8	100.8				

実施事業に係る活動指標		区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
チャレンジとよかわ活性化事業連携件数	チャレンジとよかわ活性化事業の実施に係る連携団体数	目標値		7件	7件	7件	7件
		実績値		7件	7件	(7件)	
中小企業振興対策支援件数	中小企業支援補助を実施している団体数	目標値	5件	5件	5件	5件	5件
		実績値	5件	5件	5件	(5件)	
創業・起業支援事業連携件数	とよかわ創業・起業支援ネットワーク事業において連携を実施している団体数	目標値	7件	7件	7件	7件	7件
		実績値	7件	7件	7件	(7件)	
商業団体(商工会)実施イベント支援件数	各商工会において実施しているイベントに対する支援件数	目標値	3件	4件	4件	4件	4件
		実績値	3件	4件	4件	(4件)	
市民まつり支援件数	市民まつり協議会が主催する「市民まつり」に対する支援件数	目標値	1件	1件	1件	1件	1件
		実績値	1件	1件	1件	(1件)	

(進捗状況)

前年度までの実施状況、課題、連携の内容等	今年度の取り組み及び今後の行動等
<p>「チャレンジとよかわ活性化事業」を始めとした、市内における中小企業支援施策の活用を促進するため、豊川商工会議所等各機関と連携して事業概要の説明をするなど、事業の周知を積極的に実施した。また、以前から実施している中小企業支援や商業団体(商工会)実施イベントについて、平成29年度から補助率を引き上げるなどの拡充を行うとともに、市民まつりを継続して支援した。</p> <p>平成30年2月に豊川商工会議所および豊川信用金庫と地方創生に関する包括連携協定を交わし、緊密な連携及び協力体制が整ったことにより、さらなる地域経済の活性化を図っていく。</p>	<p>「チャレンジとよかわ活性化事業」を始めとした各支援施策について、より多く活用されるよう、各機関と積極的に連携を図り、SNSを活用した情報発信などに取り組むとともに、創業無関心層に対し創業気運の醸成に向けた事業の実施について検討する。</p> <p>その他の事業については、当該事業の効果を最大限に発揮できるよう継続的に支援などを行う。</p>

(評価)

事業の成果等	進捗状況に対する自己評価(評点)	
<p>民間団体と連携して地域の賑わいづくりや産業振興などに取り組むことで、各分野の情報交換を行い、より有効で効果的な事業の遂行が図られている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とよかわ創業・起業支援ネットワーク支援件数:創業相談など支援件数 360件 ・中小企業振興対策支援件数:5件(豊川商工会議所、音羽商工会、一宮商工会、小坂井商工会、御津町商工会) ・商業団体(商工会)実施イベント支援件数:4件(本宮まつり:一宮商工会、葵まつり:小坂井商工会、ふれあいまつり:御津町商工会、もみじまつり:音羽商工会) ・市民まつり支援件数:1件(豊川市民まつり) 	H29	3
	H30	4
	H31	

Safety 安心 安全安心で活気あふれるまち

項目番号 16 【産業振興のため、商工会議所、農協等との連携をより深めます】

連番	実施内容	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	連携の状況			担当部課	
		下段は、各年度の財政所要額(見込み) 単位:百万円					政策間	地域間	官民		
22	ひまわり農業協同組合等との連携により、農業の担い手育成事業など、各種農業振興事業を推進します。	各種農業振興策について連携								○	産業部 農務課
		9.5	9.2	10.2	10.2	10.2					

実施事業に係る活動指標		区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
指標名	内容						
農業塾	受講者人数	目標値	40人	40人	40人	48人	48人
		実績値	38人	35人	39人	(48人)	
就農塾	受講者人数	目標値	30人	30人	30人	10人	10人
		実績値	22人	26人	29人	(10人)	

(進捗状況)

前年度までの実施状況、課題、連携の内容等	今年度の取り組み及び今後の行動等
<p>ひまわり農協と連携して就農塾を開催し、後継者支援を行った。ひまわり農協が実施している担い手の育成・確保を図るための就農インターン制度について、豊川市も選考委員として参画し、協働して後継者支援を行った。豊川産農産物の安全性と付加価値の向上を図るために、関係機関と連携して「こだわり農産物」の認定を実施した。</p> <p>また、平成30年2月21日付けでひまわり農協と地方創生に関する包括連携協定を交わし、綿密な連携と協力体制が整ったことにより、さらなる地域農業の発展、地域サービスの向上及び地域活力の増進を図っていく。</p> <p>課題は、就農塾の修了者の多くが、出荷販売を行う自立した販売農家に至っていないことである。</p>	<p>包括連携協定について、ひまわり農業協同組合等と連携して下記の事項を検討するとともに、具体的な取組みを展開することで、農業の担い手育成を始めとした農業振興事業を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業経営の創業等支援 ・農地及び農業施設の流動化 ・豊川産農産物のブランド力の向上を図るためのPR <p>就農塾について、受講者人数をしばり、受講者1人あたりに対する支援をこれまで以上に充実させるとともに農業における基礎的な知識の習得機会である農業塾について受講生の受入体制を強化する。</p>

(評価)

事業の成果等	進捗状況に対する自己評価(評点)		
<p>市内の関係機関との連絡調整を行い、地域農業の総合的な振興施策や体制などを構築することにより、農業の活性化が図られている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業塾 39名が修了 ・就農塾 29名が修了予定(6月) ・就農インターン制度 利用者1名が就農 ・農政企画協議会 総会1回開催 幹事会4回開催 		H29	3
	ひまわり農協と地方創生に関する包括連携協定を交わし連携と協力の連携体制が構築できたことから、工程計画以上の進捗と評価する。	H30	4
		H31	

Safety 安心 安全安心で活気あふれるまち

項目番号 17 【鉄道駅を活かしたまちづくりを進めます】

連番	実施内容	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	連携の状況			担当部課
		下段は、各年度の財政所要額(見込み) 単位:百万円					政策間	地域間	官民	
23	鉄道駅を活かしたコンパクトなまちづくりを推進するため、立地適正化計画を策定します。	計画策定 ▶▶▶▶▶								建設部 都市計画課
			8.2							

実施事業に係る活動指標		区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
指標名	内容		目標値	実績値			
立地適正化計画策定	立地適正化計画策定	目標値		一式			
		実績値		一式			

(進捗状況)

前年度までの実施状況、課題、連携の内容等	今年度の取り組み及び今後の行動等
平成29年2月に豊川市立地適正化計画を策定し、翌月(3月)に公表した。	立地適正化計画の公表により、届出制度を開始する。 計画の進行管理については、1年ごとに施策の推進状況を確認し、5年ごとにまちづくりの方針や誘導方針に対する有効性を評価するほか、随時見直しを行う。

(評価)

事業の成果等	進捗状況に対する自己評価(評点)		
立地適正化計画で居住誘導区域および都市機能誘導区域を設定したことにより、市街地の拡散が抑制され、コンパクトで利便性の高い市域の形成が図られる素地ができた。		H29	5
		H30	5
		H31	

Safety 安心 安全安心で活気あふれるまち

項目番号 17 【鉄道駅を活かしたまちづくりを進めます】

連番	実施内容	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	連携の状況			担当部課
		下段は、各年度の財政所要額(見込み) 単位:百万円					政策間	地域間	官民	
24	八幡地区工場跡地の有効活用に向けて方向性を検討します。	工場跡地有効活用の検討								総務部 財産管理課
				21.2	—	—				

実施事業に係る活動指標		区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
指標名	内容						
跡地有効活用の方向性の決定	跡地利用に関し、その目的などについて意思統一を図る	目標値		一式	一式	一式	
		実績値		一式	一式	(一式)	
都市計画マスタープランの見直し作業への意向反映	跡地利用に必要となると見込まれる事項を反映させる	目標値		一式			
		実績値		一式			

(進捗状況)

前年度までの実施状況、課題、連携の内容等	今年度の取り組み及び今後の行動等
スズキおよび日立製作所撤退後の八幡地区(名鉄八幡駅周辺)のまちづくりに関する説明会を周辺地域(桜町連区・八南連区、代田小学校区)および市内全域を対象に実施した。また、まちづくりに関するアンケートを2,000名を対象に郵送で実施した。 庁内会議として八幡地区土地利用検討会を実施した。	予想される交通渋滞対策や工場跡地有効利用などのために必要な検討・設計を関係各課の協力を得ながら行う。

(評価)

事業の成果等	進捗状況に対する自己評価(評点)		
【説明会】29年11月から12月にかけて計4回、472名の参加をいただき、地域住民や関係する団体などの意見を伺う機会となった。 【アンケート】対象者を18歳以上の市内在住者から無作為抽出して実施した。有効回収率は49.3%。方向性の検討に関する貴重な意見聴取の機会となった。 【土地利用検討会】特に関係の深い11課との情報共有や意見聴取の場となった。	工程計画に沿って進んでいると評価する。	H29	3
		H30	3
		H31	

Safety 安心 安全安心で活気あふれるまち

項目番号 18 【雇用の創出に向けた新規工業用地を開発します】

連番	実施内容	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	連携の状況			担当部課
		下段は、各年度の財政所要額(見込み) 単位:百万円					政策間	地域間	官民	
25	新規工業用地開発を進めるため、関係機関等と調整を進めます。	関係機関等との調整								産業部 企業立地推進課
		0.2	0.2	0.2	0.2	0.2				

実施事業に係る活動指標		区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
指標名	内容						
県企業庁との調整	新規工業用地開発に向けた調整	目標値	一式	一式	一式	一式	一式
		実績値	一式	一式	一式	(一式)	
関係機関との調整	新規工業用地開発に向けた調整	目標値	一式	一式	一式	一式	一式
		実績値	一式	一式	一式	(一式)	
地権者等との調整	新規工業用地開発に向けた調整	目標値	一式	一式	一式	一式	一式
		実績値	一式	一式	一式	(一式)	

(進捗状況)

前年度までの実施状況、課題、連携の内容等	今年度の取り組み及び今後の行動等
<p>新規工業用地開発に向けて、県企業庁との調整を実施したほか、開発候補地である白鳥地区の周辺道路や河川などの管理者との協議を実施するとともに、地権者に対して意向調査を実施した。</p> <p>また、開発区域内にあるハウス等の移転補償費の算定のための物件調査業務委託を実施するとともに、土地利用計画等策定に向けた開発区域内への進入経路の検討を開始した。</p>	<p>県企業庁の開発事業として採択されるよう、関係機関との調整や地権者の意向調査に取り組むと同時に、開発候補地の土地利用計画などの調査を引き続き実施する。</p>

(評価)

事業の成果等	進捗状況に対する自己評価(評点)		
<p>企業からの希望が多い内陸用工業用地の開発を行い、積極的な企業誘致を進めることで、雇用の確保と財政基盤の強化が図られる。</p>	<p>工程計画に沿って進んでいると評価する。</p>	H29	3
		H30	3
		H31	

Safety 安心 安全安心で活気あふれるまち

項目番号 19 【市外から指定地区への転入者に対し固定資産税額分の一部を助成します】

連番	実施内容	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	連携の状況			担当部課
		下段は、各年度の財政所要額(見込み) 単位:百万円					政策間	地域間	官民	
26	指定地区へ市外から転入し、家屋を取得した者等に対して補助を行います。 また、補助対象者が中学生以下の子を持つ世帯の場合、奨励金を交付します。						○			建設部 都市計画課
				0.3	11.4	20.3				

実施事業に係る活動指標		区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
指標名	内容		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
制度設計作業	新補助金制度の設計作業	目標値		一式			
		実績値		一式			
補助金の交付件数	家屋・土地に係る補助金を交付した件数	目標値				50	100
		実績値				(50)	
奨励金の交付件数	子育て奨励金を交付した件数	計画値				25	25
		実績値				(25)	

(進捗状況)

前年度までの実施状況、課題、連携の内容等	今年度の取り組み及び今後の行動等
<p>「豊川市拠点地区定住促進事業費補助金」交付要綱を平成29年4月1日に施行した。 また、パンフレットを約10,000枚作成し、直接または豊川商工会議所を通じて市内企業に依頼して従業員への周知を行うとともに、資産税課による家屋調査時又は近隣のハウジングセンターやハウスメーカーに依頼して家屋取得者への制度周知を行った。</p>	<p>従来の取組に加えて、制度周知用のポスターの作成・配付を行い、さらなる周知活動に取り組む。 また、今年度からの補助金の交付申請の開始に伴い、対象者に遅滞なく補助金を交付するとともに、交付申請者を対象に本制度や周知方法などに関するアンケート調査を行い、本制度および周知活動の見直しを行う。</p>

(評価)

事業の成果等	進捗状況に対する自己評価(評点)	
<p>交付要綱を平成29年4月1日に施行し、制度を周知している。また、補助金・奨励金の申請窓口を都市計画課に集約し、当該事務の窓口ワンストップ化を図るとともに、補助金・奨励金の交付申請の受付に向けた体制を整備した。</p>	補助金・奨励金の交付申請手続きが開始されたため、助成制度が構築できたと評価する。	H29 4
		H30 5
		H31

Soft やさしさ 人にやさしく健康で自然と共生したまち

項目番号 20【市民病院に救命救急センターを設置します】

連番	実施内容	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	連携の状況			担当部課
		下段は、各年度の財政所要額(見込み) 単位:百万円					政策間	地域間	官民	
27	医療スタッフの体制整備や県との調整を進め、救命救急センターの早期開設を目指します。	体制整備					センター開設			市民病院 経営企画室

実施事業に係る活動指標		区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
指標名	内容						
医療スタッフ等の確保	救急科専門医等の医療スタッフの確保にむけた調整等	目標値	一式	一式	一式	一式	
		実績値	一式	一式	一式		
愛知県との調整	充実段階評価等の設置協議時に必要となる書類の作成及び課題・問題点の洗い出し	目標値	一式	一式	一式	一式	
		実績値	一式	一式	一式		
救命救急センター設置	救命救急センター設置箇所数	目標値					1箇所
		実績値					

(進捗状況)

前年度までの実施状況、課題、連携の内容等	今年度の取り組み及び今後の行動等
救命救急センター設置に向けて、平成28年度に救急科専門医1名を確保し、平成29年度は心臓血管外科医を始めとした医療スタッフの確保について引き続き取り組みを進めた。また、愛知県との協議にあたり必要となる事務手続きや諸条件について、随時、確認・調整を行った。申請時に必要となる事項が年々厳しくなることが見込まれるため、随時、県と変更内容の確認や調整が必要となる。また、医療スタッフの確保が喫緊の懸案事項であるため、人材確保に向けた大学医局などとの連携・調整が課題である。	県からの情報収集および医療スタッフの確保に努め、救急医療体制の充実を図りながら救命救急センターの設置時期などについて随時検討を行う。

(評価)

事業の成果等	進捗状況に対する自己評価(評点)		
平成28年度に、救急科専門医1名確保することができ、救急医療の充実に向けて進捗が図られた。今後、心臓血管外科医を始めとした医療スタッフの確保について引き続き取り組む。	おおむね工程計画に沿って事業を実施しているものの、専門医の確保や必要となるヘリポート等のハード整備など、課題が多いと評価する。	H29	3
		H30	3
		H31	

Soft やさしさ 人にやさしく健康で自然と共生したまち

項目番号 21 【障がい者の相談事業や就労支援を充実します】

連番	実施内容	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	連携の状況			担当部課
		下段は、各年度の財政所要額(見込み) 単位:百万円					政策間	地域間	官民	
29	毎年、正規職員として障がい者1名を採用します。	障がい者の採用								企画部 人事課

実施事業に係る活動指標		区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
指標名	内容						
正規職員(障がい者)の採用	正規職員(障がい者)の採用人数	目標値	1人	1人	1人	1人	1人
		実績値	1人	0人	1人	0人	

(進捗状況)

前年度までの実施状況、課題、連携の内容等	今年度の取り組み及び今後の行動等
平成29年4月1日付で、1名を正規職員として採用した。 今後も引き続き採用に向けて取り組んでいく。	採用試験情報を広報とよかわや市ホームページなどでPRし、応募者の確保および採用に努める。また、障がい者の受験阻害要因をできるだけ軽減できるよう合理的配慮に努める。

(評価)

事業の成果等	進捗状況に対する自己評価(評点)		
市が率先して障がい者を採用することにより、市全体における障がい者の就労支援の充実が図られている。 ■正規職員(障がい者)の採用人数 ・平成27年度 1名 ・平成29年度 1名		H29	3
		H30	3
		H31	

Soft やさしさ 人にやさしく健康で自然と共生したまち

項目番号 22 【在宅医療・介護連携にかかる体制を構築します】

連番	実施内容	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	連携の状況			担当部課
		下段は、各年度の財政所要額(見込み) 単位:百万円					政策間	地域間	官民	
31	医療・介護関係者や市民向けの研修会・講演会を開催するとともに、在宅医療サポートセンターへの支援を強化するなどして、在宅医療と介護が連携したサービス提供体制を整備します。	研修会・講演会の開催、情報共有ツールの活用					○		○	福祉部 介護高齢課
		在宅医療サポートセンターの支援強化								
		4.4	4.6	4.9	12.7	11.5				

実施事業に係る活動指標		区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
指標名	内容		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
人材育成に係る研修会等	多職種連携を進めるため多職種が一堂に介して行う研修等の開催数	目標値	9回	12回	12回	12回	12回
		実績値	9回	12回	13回	(12回)	
住民普及啓発に係る講演会等	市民向けフォーラム等の開催数	目標値	1回	1回	1回	2回	1回
		実績値	1回	1回	1回	(2回)	
住民普及啓発に係る出前講座	地域包括ケアシステム、在宅医療に関する知識を深める出前講座の開催数	目標値	12回	24回	36回	36回	36回
		実績値	22回	35回	37回	(36回)	
電子連絡帳サービスの利用者数	医療と介護の連携を図るための電子連絡帳システムに登録されている延べ患者数	目標値	120人	500人	600人	1,400人	1,500人
		実績値	392人	940人	1,334人	(1,500人)	

(進捗状況)

前年度までの実施状況、課題、連携の内容等	今年度の取り組み及び今後の行動等
<p>各機関が相互に連携する仕組みや関係づくりを行うため、多職種協働研修会などを実施するとともに、より効果的・効率的で住民の安心へとつながる医療・介護連携体制を構築するため、ICT(電子連絡帳)を活用し、関係機関における情報共有・連携を図った。</p> <p>また、住民の学びのニーズに応えるとともに、在宅医療・介護に関する住民の疑問や不安などを解消していくため、豊川市医師会在宅医療サポートセンターと連携を図りながら出前講座を積極的に開催するとともに、平成29年度は、医師を始めとした専門職が地域のサロン等の場で講義・相談対応を行う在宅診療地区座談会を10回開催して特に啓発を強化した。</p> <p>これらの取組を客観的に評価し、さらなる成果を出していけるよう、評価指標調査を行った。</p> <p>・在宅医療・介護に関する相談件数 平成27年度 78件、平成28年度103件、平成29年度153件</p>	<p>平成30年度は医療報酬・介護報酬同時改定の節目の年であることから、地域住民への普及啓発活動として、地域包括ケアや介護の魅力等について学び・体験することができるイベント「地域包括ケア情報展」を医師会始め幅広く関係団体と協働し、開催する。</p> <p>また、医療・介護関係者の連携を推進するため、学びを通じた顔の見える関係づくりの場として、引き続き多職種協働研修会などを実施するとともに、処理スピードが飛躍的に向上し、利便性の高くなった電子連絡帳システムについて、利活用の状況調査や説明会、操作研修会の実施、利活用事例集の作成などにより、さらなる利用者の拡大を図る。</p> <p>その他、地域において、学びのニーズを持った団体などが活動を活性化させたり活動の幅を広げたりすることができるよう、潜在するニーズの発掘に努めるとともに、他部署なども連携した出前講座を開催する(業務改善活動:MIXUP連携プロジェクトの推進)。</p> <p>各種取組に対する効果検証を行うことができるよう評価指標調査を継続実施するとともに、様々な角度からの分析を行い、医療・介護関係多職種へとフィードバックを行う。</p>

(評価)

事業の成果等	進捗状況に対する自己評価(評点)	
<p>高齢者が地域で自立した生活を送ることができるよう、医療従事者や介護従事者が連携・協働して事業に取組み、在宅医療と介護が連携した適切なサービスを利用できる体制づくりが図られた。</p> <p>特に電子連絡帳では、豊川市医師会と連携・推進したことで想定を大きく上回る活用が図られている。</p>	豊川市医師会を始めとした関係機関と連携した取組を通して、事業効果が向上したと評価する。	H29 4
		H30 4
		H31

Soft やさしさ 人にやさしく健康で自然と共生したまち

項目番号 23 【高齢者の介護予防事業や相談事業を充実します】

連番	実施内容	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	連携の状況			担当部課
		下段は、各年度の財政所要額(見込み) 単位:百万円					政策間	地域間	官民	
32	平成28年度から運動器機能向上教室を順次増やすとともに、地域における認知症カフェへの支援を実施します。また、平成29年度から地域の団体が行う介護予防教室への支援を拡充します。	運動器機能向上教室の充実								福祉部 介護高齢課
		認知症カフェへの支援								
		地域の介護予防活動への支援								
		27.3	29.7	33.4	36.3	39.3				

実施事業に係る活動指標		区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
指標名	内容		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
介護予防教室実施回数	運動器機能向上教室等の介護予防教室の実施回数	目標値	406回	427回	448回	471回	494回
		実績値	438回	446回	488回	(471回)	
健康教育実施回数	老人クラブを対象とした「いつまでもいきいき講座」等の実施回数	目標値	70回	70回	70回	70回	70回
		実績値	77回	79回	97回	(70回)	
認知症カフェ実施箇所数	認知症カフェを実施している箇所数	目標値		9箇所	10箇所	11箇所	12箇所
		実績値		9箇所	9箇所	(11箇所)	

(進捗状況)

前年度までの実施状況、課題、連携の内容等	今年度の取り組み及び今後の行動等
<p>高齢者の自立した日常生活を支援するため「いきいき元気運動教室(運動器機能向上教室)」の開催クール数を増加(8クール(平成28年度)から12クール(平成29年度))し実施した。平成29年度からリハビリテーション専門職を活用した地域リハビリテーション活動支援事業を実施し、地域の介護予防活動への支援を行った。併せて、認知症カフェを運営する9団体に対し補助し、情報交換等の場を設けた。</p>	<p>「いきいき元気運動教室(運動器機能向上教室)」の開催クール数を増加(12クール(平成29年度)から16クール(平成30年度))し、高齢者が要介護状態となることの予防や地域における自立した日常生活を支援する。介護予防の専門職チーム「元気応援隊」と生活支援コーディネーターを活用した介護予防事業の開催や、地域リハビリテーション活動支援事業などにより、地域の介護予防活動への支援を行う。認知症カフェを運営する個人又は団体に対する補助制度を継続するとともに、定期的な情報共有や情報交換を行い、運営団体の活動を支援する。</p>

(評価)

事業の成果等				進捗状況に対する自己評価(評点)		
地域の予防教室や通いの場を充実させ、参加者が生きがい役割をもって生活できる地域を構築することにより、介護予防につながっている。				介護予防教室及び健康教室について計画を超えた参加があり、介護予防の充実が図られていると評価する。	H29	3
内容		28年度	29年度		H30	4
介護予防教室	参加延べ人数	6,847人	7,209人		H31	
	うち運動器機能向上教室参加延べ人数	1,846人	2,829人			
健康教育	参加延べ人数	2,689人	3,226人			
認知症カフェ	カフェ参加延べ人数	1,841人	2,198人			

Soft やさしさ 人にやさしく健康で自然と共生したまち

項目番号 23 【高齢者の介護予防事業や相談事業を充実します】

連番	実施内容	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	連携の状況			担当部課
		下段は、各年度の財政所要額(見込み) 単位:百万円					政策間	地域間	官民	
33	平成29年度から市内4か所に生活支援コーディネーターを配置するとともに、相談窓口を充実します。	生活支援コーディネーターの配置、 高齢者相談センター窓口の充実							○	福祉部 介護高齢課
		176.1	188.0	226.0	228.1	228.4				

実施事業に係る活動指標		区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
指標名	内容						
相談窓口設置箇所数	高齢者相談センター出張所の設置箇所数	目標値			5箇所	5箇所	5箇所
		実績値			5箇所	(5箇所)	

(進捗状況)

前年度までの実施状況、課題、連携の内容等	今年度の取り組み及び今後の行動等												
<p>医療、介護のサービス提供のみならず、NPO、民間企業、協同組合、ボランティア、社会福祉法人などの生活支援サービスを担う事業主体と連携しながら、多様な日常生活上の支援体制の充実・強化を図ることを目的に、生活支援コーディネーターを配置し、地域のニーズと資源の状況の把握を中心に実施した。</p> <p>平成29年度には、市内4箇所の高齢者相談センターに加え高齢者相談センター出張所5箇所を新たに開設し、市内9箇所に生活支援コーディネーターを配置、相談窓口の充実を図った。</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>業務内容</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>介護予防ケアマネジメント業務件数</td> <td>1,726件</td> <td>1,838件</td> </tr> <tr> <td>総合相談支援・連絡調整業務件数</td> <td>43,198件</td> <td>58,258件</td> </tr> <tr> <td>認知症相談支援業務件数</td> <td>794件</td> <td>1,165件</td> </tr> </tbody> </table>	業務内容	28年度	29年度	介護予防ケアマネジメント業務件数	1,726件	1,838件	総合相談支援・連絡調整業務件数	43,198件	58,258件	認知症相談支援業務件数	794件	1,165件	<p>市内9箇所に配置した生活支援コーディネーターが、NPO、民間企業、協同組合、ボランティア、社会福祉法人等の生活支援サービスを担う事業主体と連携しながら、多様な日常生活上の支援体制の充実・強化を円滑に図り、機能するよう支援する。併せて、生活支援コーディネーターが実施する資源調査や生活支援体制にかかる社会資源とのマッチング、出前講座等を通じて、高齢者の相談先を地域に周知する。</p> <p>また、高齢者相談センターでは、正規職員(プロパー)を1名増員することにより、相談窓口の強化を図る。</p>
業務内容	28年度	29年度											
介護予防ケアマネジメント業務件数	1,726件	1,838件											
総合相談支援・連絡調整業務件数	43,198件	58,258件											
認知症相談支援業務件数	794件	1,165件											

(評価)

事業の成果等	進捗状況に対する自己評価(評点)	
高齢者相談センターにおける認知症や生活支援サービスに関する相談・支援機能を強化するとともに、相談窓口を増やしたことで、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせる体制を構築することができた。	H29	5
	H30	5
	H31	

Soft やさしさ 人にやさしく健康で自然と共生したまち

項目番号 24 【がんの予防、早期発見のためがん検診を充実します】

連番	実施内容	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	連携の状況			担当部課
		下段は、各年度の財政所要額(見込み) 単位:百万円					政策間	地域間	官民	
34	各種がん検診の自己負担金を一律500円とするワンコイン検診を実施します。						○			子ども健康部 保健センター
				258.9	258.9	258.9				

実施事業に係る活動指標		区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
指標名	内容		目標値		43,500人	43,500人	43,500人
がん検診	がん検診受診者数 ※【】内はワンコイン検診実施以前のがん検診受診者数	実績値	【40,549人】	【38,467人】	40,019人	(43,500人)	

(進捗状況)

前年度までの実施状況、課題、連携の内容等	今年度の取り組み及び今後の行動等
<p>平成29年度から、肺がん・胃がん・大腸がん・前立腺がん・乳がん・子宮頸がん検診を自己負担金額500円で実施した。</p> <p>各検診の受診率は、前年に比べ向上しており、全体で3.9%増加したが、依然として乳がん検診以外の検診は県内の受診率を下回り、その中でも大腸がん・子宮頸がん検診は、10%近く低い状況である。特に、子宮頸がん検診の受診率は、県内で比較すると53市町村のうち46位と低い。女性や若年者が受診しやすい体制を整備する必要がある。</p>	<p>引き続きワンコインがん検診を実施する。また、従来の予約受付方法に加え、WEB予約サービスを導入し、24時間予約を受け付けることで予約方法の利便性を高め、受診しやすい体制を整える。今後もワンコインがん検診やWEB予約サービスの周知及び女性や若年層に対しての啓発に力を入れ、がん検診受診者数を増やし、市民の健康づくりを促進させる。</p>

(評価)

事業の成果等	進捗状況に対する自己評価(評点)		
<p>国の補助制度(がん検診無料クーポン)の削減から受診者数が減ってしまっていたが、平成29年度からワンコイン検診を実施し、がん検診の自己負担金を軽減したことで、受診者数の伸びに繋がった。</p>	平成29年度から受診者の自己負担金を軽減したワンコイン検診を施行したため、検診受診者の増加が得られ、受診しやすい体制整備が進んだと評価する。	H29	4
		H30	4
		H31	

Soft やさしさ 人にやさしく健康で自然と共生したまち

項目番号 26 【再生可能エネルギーの普及啓発と導入支援に努めます】

連番	実施内容	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	連携の状況			担当部課
		下段は、各年度の財政所要額(見込み) 単位:百万円					政策間	地域間	官民	
37	住宅用太陽光発電システム設置補助に加え、ホームエネルギーマネジメントシステム、燃料電池システム、リチウムイオン蓄電池、電気自動車充給電設備の設置費の一部を補助します。	ホームエネルギーマネジメントシステム等設置費の一部補助								環境部
			2.8	2.8	2.8	2.8				環境課

実施事業に係る活動指標		区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
HEMSへの補助	市民が住宅に設置するHEMSへの補助件数	目標値		35件	35件	35件	35件
		実績値		33件	43件	(50件)	
燃料電池システムへの補助	市民が住宅に設置する燃料電池システムへの補助件数	目標値		20件	20件	20件	20件
		実績値		18件	19件	(40件)	
リチウムイオン蓄電池システムへの補助	市民が住宅に設置するリチウムイオン蓄電池システムへの補助件数	目標値		20件	20件	20件	20件
		実績値		20件	40件	(40件)	
電気自動車等充給電設備への補助	市民が住宅に設置する電気自動車等充給電設備への補助件数	目標値		4件	4件	4件	4件
		実績値		0件	0件	(4件)	

(進捗状況)

前年度までの実施状況、課題、連携の内容等	今年度の取り組み及び今後の行動等
<p>太陽光発電システムについては、既に普及段階に入っているため、平成28年度から補助メニューに「HEMS、燃料電池システム、リチウムイオン蓄電池システム、電気自動車等充給電設備」の設置費補助を追加した。</p> <p>平成29年度より「HEMS、燃料電池システム、リチウムイオン蓄電池システム」の設置費補助について、受付件数の枠を拡充し、充実を図った。</p> <p>電気自動車等充給電設備の設置費補助については、自動車販売店を通じて制度の周知を図ったが、申請件数は0件であった。</p>	<p>平成28年度より開始した「HEMS、燃料電池システム、リチウムイオン蓄電池システム、電気自動車等充給電設備」の住宅用地球温暖化対策設備に係る補助制度を継続する。</p> <p>電気自動車等充給電設備設置費補助については、補助制度の見直しを検討する。</p> <p>■平成30年度の補助メニュー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HEMS設置費補助金＝50件(予算＝1,000千円) ・燃料電池システム設置費補助金＝40件(予算＝2,000千円) ・リチウムイオン蓄電池システム設置費補助金＝40件(予算＝2,000千円) ・電気自動車等充給電設備設置費補助金＝4件(予算＝100千円)

(評価)

事業の成果等	進捗状況に対する自己評価(評点)	
太陽光発電システムに加えHEMS、燃料電池システム、リチウムイオン蓄電池システムなど住宅用地球温暖化対策設備の導入補助を拡充することで、家庭における地球温暖化対策が促進する。	H29	4
	H30	4
	H31	

Simple わかりやすさ わかりやすく、無駄のない行政

項目番号 28 【職員の企画立案能力、住民対話力を高めます】

連番	実施内容	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	連携の状況			担当部課
		下段は、各年度の財政所要額(見込み) 単位:百万円					政策間	地域間	官民	
39	企画立案能力や住民対話力の向上を図る職員研修を重点的に実施するとともに、民間企業を対象とした研修へ職員を派遣します。 また、民間への短期派遣研修は早期実施を前提に検討します。									企画部 人事課
			0.8	0.8	0.8	0.8				

実施事業に係る活動指標		区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
指標名	内容						
年替りスキルアップ研修	年替りスキルアップ研修(企画立案能力向上研修等)の実施回数	目標値		2回	2回	2回	2回
		実績値		2回	2回	(2回)	
年替りスキルアップ研修【接遇編】	年替りスキルアップ研修【接遇編】(住民対応力向上研修)の実施回数	目標値		1回	1回	1回	1回
		実績値		1回	1回	(1回)	
民間スキル修得研修	民間スキル修得研修への派遣回数	目標値		1回			
		実績値		1回			
民間短期派遣研修	民間短期派遣研修への派遣回数	目標値			1回	2回	2回
		実績値			1回	(2回)	

(進捗状況)

前年度までの実施状況、課題、連携の内容等	今年度の取り組み及び今後の行動等
平成29年度は、「年替りスキルアップ研修」を実施するとともに、「民間派遣研修」として、「早稲田大学マニフェスト研究所人材マネジメント部会」へ3名を派遣した。	<ul style="list-style-type: none"> 年替りスキルアップ研修(企画立案能力向上研修など) 今後の行政需要に応じてテーマを替えるなどし、今後も継続して実施。 年替りスキルアップ研修【接遇編】(住民対応力向上研修) 今後も継続して実施。 民間派遣研修 平成30年度も継続して「早稲田大学マニフェスト研究所人材マネジメント部会」へ職員を派遣する。 平成30年度から新たに「名古屋大学減災研究センター」へ受託研究員として職員を派遣する。

(評価)

事業の成果等	進捗状況に対する自己評価(評点)			
職員研修を充実させ、企画立案能力、住民対話力の向上を図ることで、効果的な行政運営、官民協働の推進が図られている。 ■平成28年度実績 ・年替りスキルアップ研修(企画立案能力向上研修等)の受講者数 19人 ・年替りスキルアップ研修【接遇編】(住民対応力向上研修)の受講者数 13人 ・民間スキル修得研修への派遣職員数 2人 ■平成29年度実績 ・年替りスキルアップ研修(企画立案能力向上研修等)の受講者数 42人 ・年替りスキルアップ研修【接遇編】(住民対応力向上研修)の受講者数 17人 ・民間派遣研修への派遣職員数 3人	工程計画に沿って進んでいると評価する。	H29	3	
			H30	3
			H31	

Simple わかりやすさ わかりやすく、無駄のない行政

項目番号 29 【公共施設の総量削減と適正配置を進めます】

連番	実施内容	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	連携の状況			担当部課	
		下段は、各年度の財政所要額(見込み) 単位:百万円					政策間	地域間	官民		
40	公共施設再編まちづくり計画(小坂井エリア)を踏まえ、事業実施に向けた実施設計などを行います。また、全施設の劣化状況を把握するとともに建築保全システムの再構築を行います。	(小坂井地区)基本構想、基本計画 施設基本設計、実施設計								○	総務部 財産管理課
		耐久性調査、劣化調査									
		22.7	43.9	18.3	43.3						

実施事業に係る活動指標		区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
指標名	内容						
小坂井地区基本構想・基本計画の策定	小坂井地区の公共施設再編に関する基本構想・基本計画の策定	目標値	一式	一式			
		実績値	一式	一式			
小坂井地域交流会館(仮称)基本設計、実施設計委託	基本計画に基づき、新たな公共施設に関する基本設計等の実施	目標値			一式	一式	
		実績値			一式	(一式)	
構造体耐久性調査委託(再調査含む)	既存施設の長寿命化に向け、公共施設構造体耐久性調査の実施	目標値	41件	7件		2件	
		実績値	41件	7件		(2件)	
劣化調査(一部委託)	市内公共施設の工事優先度判定に向け、劣化調査の実施	目標値	25件	232件	70件	70件	70件
		実績値	25件	232件	52件	(59件)	
建築保全システム改修	劣化調査や設計図書及び工事優先度の判定結果を蓄積するための改修	目標値		一式			
		実績値		一式			

(進捗状況)

前年度までの実施状況、課題、連携の内容等	今年度の取り組み及び今後の行動等
<p>平成28年度は、各種団体などによる基本計画策定委員会(略称)を開催し、小坂井地区公共施設再編整備基本計画を策定・公表した。平成29年度は、小坂井地区公共施設再編整備基本計画に基づき、小坂井地域交流会館(仮称)基本設計を実施するとともにワークショップや住民説明会を開催した。</p> <p>また、引き続き劣化調査を行い工事優先度を決定し、その優先度を基に順次改修工事などを実施した。</p>	<p>平成29年度の小坂井地域交流会館(仮称)基本設計を基に実施設計を行う。また、小坂井地域交流会館(仮称)の取組みを適宜ワークショップや住民説明会で報告する。</p> <p>公共施設適正配置計画については、計画の進捗状況の把握、リーディング事業の見直しを実施する。</p> <p>公共施設アスベスト含有状況調査委託では、施設で使用する建材等にアスベストを含む可能性について調査を実施する。</p> <p>また、劣化調査を引き続き実施し、その調査結果を基に工事優先度を作成するとともに、その優先度を考慮して順次改修工事などを実施するため予算編成を行う。施設をこの先いつまで使用することができるかの構造体耐久性調査についても実施する。</p>

(評価)

事業の成果等	進捗状況に対する自己評価(評点)		
<p>【小坂井地域交流会館(仮称)の基本設計】</p> <p>小坂井地区公共施設再編整備基本計画に基づき、小坂井地域交流会館(仮称)基本設計を実施した。また、ワークショップや住民説明会の実施により、基本設計に対する要望等の意見を伺う機会を設け、地域住民の理解を深めることができた。</p> <p>【劣化調査の実施】</p> <p>劣化調査を平成29年度に52棟で実施し、その調査結果を基に工事優先度を作成し、41箇所(箇所)の改修工事などとして、平成30年度当初予算に約1,145百万円を計上した。</p>		H29	4
		H30	4
		H31	

Simple わかりやすさ わかりやすく、無駄のない行政

項目番号 31 【ボランティア・NPOの人材育成と運営支援を進めます】

連番	実施内容	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	連携の状況			担当部課
		下段は、各年度の財政所要額(見込み) 単位:百万円					政策間	地域間	官民	
42	ボランティア活動の活性化を図るため、市民活動団体からの提案型講座を開催するとともに、若年層を対象とした体験型講座等を実施し、人材育成を行います。	提案型講座の開催					○			市民部 市民協働国際課
		体験型講座等の実施								
		0.3	0.3	0.4	0.4	0.4				

実施事業に係る活動指標		区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
指標名	内容						
市民活動講座	講座の開催数	目標値	3回	3回	3回	3回	3回
		実績値	2回	3回	3回	(3回)	
体験型講座等	若年層を対象とした講座等の開催	目標値		一式	一式	一式	一式
		実績値		一式	一式	(一式)	

(進捗状況)

前年度までの実施状況、課題、連携の内容等	今年度の取り組み及び今後の行動等
<p>講座の企画運営を市民活動団体から公募し、その団体の特性を生かした「ボランティア・市民活動体験・養成講座」および「NPOスキルアップ講座」を実施した。</p> <p>協働事業を行う関係各課と連携し、高校生や大学生、若年社会人を対象とした体験型講座を開催し、市民活動の若年層の人材育成を行った。</p>	<p>市民活動講座を継続的に実施するとともに、高校生や大学生、若年社会人を対象とした体験型講座を開催し、ボランティア活動をもっと身近に感じてもらうことで、継続して関わってもらえるような若年層の人材育成に努める。</p>

(評価)

事業の成果等	進捗状況に対する自己評価(評点)		
<p>◆NPOスキルアップ講座により、各団体のスキル向上が図られた。</p> <p>■NPOスキルアップ講座 11月8日開催【受講者:23名】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後、活動を行う上で参考になったと答えたアンケート割合:86% <p>■NPOスキルアップ講座 11月27日開催【受講者:40名】</p> <p>◆市民活動講座の企画運営を市民活動団体から公募し実施したことで、ボランティア・市民活動への参加者の拡大が効果的に図られた。</p> <p>■ボランティア・市民活動体験・養成講座【受講者:21名】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講座を通じて、ボランティアや市民活動に対して興味を持つことができたと答えたアンケート割合:72% <p>◆若年層を対象とした体験型講座により、ボランティア活動に対する関心度の向上、創意工夫、自主的に企画運営する能力など講座参加者の育成、市民活動への参加意欲の向上が効果的に図られた。</p> <p>■若者ボランティア体験講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【受講者:40名】、【体験講座参加延べ数:118名】 ・今後もボランティア活動を続けてみたいと思うと答えたアンケート割合:100% 	<p>工程計画に沿って進んでいると評価する。</p>	H29	3
		H30	3
		H31	

Simple わかりやすさ わかりやすく、無駄のない行政

項目番号 31 【ボランティア・NPOの人材育成と運営支援を進めます】

連番	実施内容	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	連携の状況			担当部課
		下段は、各年度の財政所要額(見込み) 単位:百万円					政策間	地域間	官民	
43	とよかわ市民協働基本方針の意識啓発を推進するとともに協働推進研修を実施し、協働体制の促進を図ります。	職員向け研修の実施							○	市民部 市民協働国際課
		市民向け協働研修の実施								
		0.1	0.1	0.1	0.1	0.1				

実施事業に係る活動指標		区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
指標名	内容						
職員向け協働研修	研修の開催数	目標値	1回	1回	1回	1回	1回
		実績値	1回	1回	1回	(1回)	
市民向け協働研修	研修の開催数	目標値		1回	1回	1回	1回
		実績値		1回	7回	(1回)	

(進捗状況)

前年度までの実施状況、課題、連携の内容等	今年度の取り組み及び今後の行動等
<p>地縁組織(連区・町内会)、校区会、市民活動団体、学校、企業関係者を対象に、協働への必要性についての理解促進を目的とした「市民向け協働研修(出前講座)」を行った。 また、役職に関わらず各課から受講希望を募り「職員向け協働研修」を継続実施した。</p>	<p>「市民向け協働研修(出前講座)」および「職員向け協働研修」を継続して行うとともに、企業等にも協働研修の場の提供を働きかけ出前講座を行うことにより、幅広い層に協働意識の啓発を図っていく。</p>

(評価)

事業の成果等	進捗状況に対する自己評価(評点)		
<p>職員向け協働研修だけでなく、市民向け協働研修(出前講座)を実施したことにより、幅広く協働への理解を深めることができたとともに、協働意識の醸成が図られた。</p> <p>■市民向け協働研修(出前講座)【テーマ:協働のまちづくりについて】 ・受講者数:141名 ・協働したほうが良いと思われる事業、協働してみたい事業があると答えたアンケート割合:18%</p> <p>■職員向け協働研修【テーマ:市民活動団体との協働の基本】 ・受講者数:44名 ・協働したほうが良いと思われる事業、協働してみたい事業があると答えたアンケート割合:50%</p>	<p>工程計画に沿って進んでいると評価する。</p>	H29	3
		H30	3
		H31	

Simple わかりやすさ わかりやすく、無駄のない行政

項目番号 31 【ボランティア・NPOの人材育成と運営支援を進めます】

連番	実施内容	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	連携の状況			担当部課
		下段は、各年度の財政所要額(見込み) 単位:百万円					政策間	地域間	官民	
44	公開審査によって採択された市民活動団体等の協働事業に対して補助を行います。	補助金の交付								市民部 市民協働国際課
		1.0	1.0	1.0	1.0	1.0				

実施事業に係る活動指標		区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
指標名	内容						
市民協働推進事業	補助金交付団体数	目標値	5団体	5団体	5団体	5団体	5団体
		実績値	6団体	6団体	8団体	(5団体)	

(進捗状況)

前年度までの実施状況、課題、連携の内容等	今年度の取り組み及び今後の行動等
市民活動団体、地縁組織(連区・町内会)、学校、企業など複数の団体で行う協働事業に対して、必要経費の一部を補助する制度が3年目を迎え、それぞれの団体の特徴を生かした事業が展開され、協働の意識が更に醸成された。	引き続き多くの応募団体の確保に努め、多くの新規団体から申請がでるよう、より積極的な制度周知に努める。

(評価)

事業の成果等	進捗状況に対する自己評価(評点)	
市民活動団体などの協働事業に対して補助することで、市民の連携強化と市民協働によるまちづくりの推進が図られている。 ■市民協働推進事業 ・三蔵子連区【三蔵子連区合同防災訓練】 ・国府中町区町内会【環境の保全と子供の健全育成を図る事業】 ・赤坂町内会【みんなで一緒に火の用心】 ・本野ヶ原町内会【幼稚園児とのふれあい交流会】 ・中部小学校校区会【三世代大交流会】 ・豊川おやこ文化の会【おやこまつり2018】 ・諏訪一部町内会【代田中学校区ポジティブチケット事業】 ・小坂井住宅町内会【全世帯交流を目指す町内まつり】	H29	4
	H30	4
	H31	

Simple わかりやすさ わかりやすく、無駄のない行政

項目番号 32 【地域の伝統継承事業に支援します】

連番	実施内容	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	連携の状況			担当部課
		下段は、各年度の財政所要額(見込み) 単位:百万円					政策間	地域間	官民	
45	指定文化財の祭礼や芸能で使用する衣装、楽器、小道具などの修理、新調費用に対して補助を行います。									教育委員会 生涯学習課
				1.0	1.0	1.0				

実施事業に係る活動指標		区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
指標名	内容		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
制度設計作業	新補助金制度の設計作業	目標値	一式	一式			
		実績値	一式	一式			
新補助金制度の実施	補助金交付件数	目標値			2件	2件	2件
		実績値			2件	(2件)	

(進捗状況)

前年度までの実施状況、課題、連携の内容等	今年度の取り組み及び今後の行動等
文化財保護審議会での審議も踏まえ、文化財保存事業費補助金交付要綱を改正し、無形民俗文化財の伝承支援のための新補助金制度を平成28年度に設けた。 平成29年度は、補助金制度の周知を図り、事業者に補助金交付を行った。	平成30年度予算で措置した補助金(100万円)について補助金制度の周知を図り、事業者に補助金交付を行う。

(評価)

事業の成果等	進捗状況に対する自己評価(評点)	
伝承支援をすることで地域の祭礼や伝統芸能の伝承が図られる。 ・牛久保の若葉祭上若組大山車横幕新調 (宗)八幡社(上若組) 補助額50万円 ・牛久保の若葉祭下中組大山車横幕新調 (宗)八幡社(下中組) 補助額50万円	補助制度が創設され、地域の伝統継承事業の支援が可能になったと評価する。	H29 5
		H30 5
		H31

Simple わかりやすさ わかりやすく、無駄のない行政

項目番号 33 【防犯防災に対するコミュニティづくりを支援します】

連番	実施内容	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	連携の状況			担当部課
		下段は、各年度の財政所要額(見込み) 単位:百万円					政策間	地域間	官民	
46	地域防災力を強化するため、自主防災会が行う防災活動に対する補助金の補助率及び上限を平成28年度から3年間引き上げます。	自主防災会活動への補助金の補助率・上限の引き上げ					○		○	企画部 防災対策課
		2.1	3.9	3.9	3.9	2.0				

実施事業に係る活動指標		区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
指標名	内容		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
自主防災会活動費補助(資機材)	補助金で資器材を整備した自主防災会の件数	目標値	50団体	50団体	50団体	50団体	50団体
		実績値	34団体	34団体	37団体	(50団体)	
自主防災会活動費補助(防災倉庫)	補助金で防災倉庫を設置した自主防災会の件数	目標値	4団体	5団体	5団体	5団体	4団体
		実績値	3団体	7団体	6団体	(5団体)	
自主防災会活動費補助(防災士)	防災士の資格取得に要した費用を補助した人数	目標値	2人	2人	2人	2人	2人
		実績値	1人	4人	1人	(2人)	

(進捗状況)

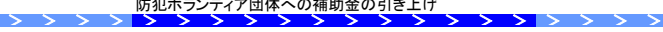
前年度までの実施状況、課題、連携の内容等	今年度の取り組み及び今後の行動等
<p>平成27年度までの自主防災会訓練推進交付金、防災倉庫設置費補助金、防災士資格取得補助金を一元化し、平成28年度から期限付きで補助率及び上限額を引き上げた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災活動に要する資機材などの整備費補助 補助率1/2、上限30,000円→補助率2/3、上限60,000円 ・防災倉庫設置費補助 補助率1/2、上限100,000円→補助率2/3、上限150,000円 ・防災士資格取得費補助 補助率1/2、上限30,000円→補助率2/3、上限40,000円 	<p>今年度も平成28年度から3年間引き上げた補助率及び上限額で補助を行い、平成31年度からは以下のとおり、平成27年度までと同様の補助率及び上限額にし、自主防災会の活動費を補助していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災活動に要する資機材などの整備費補助 補助率1/2、上限30,000円 ・防災倉庫設置費補助 補助率1/2、上限100,000円 ・防災士資格取得費補助 補助率1/2、上限30,000円

(評価)

事業の成果等	進捗状況に対する自己評価(評点)		
<p>自主防災会が行う防災活動に対する補助を拡充することで、地域における防災力の強化が図られている。</p> <p>■補助金の利用実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災活動に要する資機材などの整備費補助 1,988,905円(37団体) ※予算に対する補助金利用率 66.29% ・防災倉庫設置費補助 700,428円(6団体) ※予算に対する補助金利用率93.39% ・防災士資格取得補助 40,000円(1人) ※予算に対する補助金利用率50% 	自主防災会が行う防災活動に対する補助体制が確立されたと評価する。	H29	5
		H30	5
		H31	

Simple わかりやすさ わかりやすく、無駄のない行政

項目番号 33 【防犯防災に対するコミュニティづくりを支援します】

連番	実施内容	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	連携の状況			担当部課
		下段は、各年度の財政所要額(見込み) 単位:百万円					政策間	地域間	官民	
47	地域の各防犯ボランティア団体が行う防犯備品等の購入に対する支援として、防犯ボランティア団体活動支援費補助金を平成28年度から3年間引き上げます。	防犯ボランティア団体への補助金の引き上げ 							○	市民部 人権交通防犯課
		1.2	1.6	1.6	1.6	1.0				

実施事業に係る活動指標		区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
指標名	内容		目標値	実績値			
防犯ボランティア団体活動支援費補助金	防犯ボランティア団体活動支援費補助金補助件数	目標値	35件	35件	35件	35件	35件
		実績値	34件	34件	31件	(35件)	

(進捗状況)

前年度までの実施状況、課題、連携の内容等	今年度の取組み及び今後の行動等
<p>地域の防犯力を強化するため、防犯ボランティア団体の活動に要する経費の一部を補助した。補助金の内訳については、均等割、会員数割、車両数割に加えて、不足する資機材等の購入費用を支援するための物品割を期限付きで増額して補助している。</p> <p>各団体の構成員が高齢化している中、新たな人材の確保はもちろんであるが、活動のための支援を継続して行い、より長く地域で活躍できる環境を整えるサポートをする必要がある。</p>	<p>防犯ボランティア団体活動支援費補助金(均等割・会員数割・車両数割、物品割)を、継続して支援していくが、物品割についての増額は平成30年度までとなっている。活動を継続的にサポートするために不足物品等の確認を行い、活動に不可欠な物品に対しては積極的に支援をすすめていきたい。</p>

(評価)

事業の成果等	進捗状況に対する自己評価(評点)		
<p>地域の各防犯ボランティア団体が行う防犯備品などの購入に対して支援することで、活動の活性化と地域の防犯力の向上が図られている。</p> <p>■防犯ボランティア団体活動例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年末特別決起集会および青パト出発式 ・各団体が活動服で青パト車に乗車又は徒歩で一同に集まり、防犯に対する活動意識を新たに出発式を開催した。 参加団体数 20団体 参加青パト台数 54台 参加人数 127人 ・防犯ボランティア講座および情報交換会などの開催で、活動のポイントや問題点を共有した。 年2回実施 参加者114名 			
	防犯ボランティア団体活動支援費補助金が引き上げられ、地域の防犯力の向上につながっていると評価する。	H29	5
		H30	5
	H31		

国県に対する要望活動

国県への要望		現在までの動き(直近までの内容を記載してください)
① 国道151号一宮バイパス整備	要望	地域の産業経済の発展、高次医療施設のアクセス強化のために不可欠な国道151号一宮バイパスの早期整備
	現状	1工区での用地買収率は約7割となっている。平成30年度は引き続き用地買収の推進を図るとともに、一部工事用道路の整備に着手する予定である。
② 御津地区海岸堤防の補強・改修工事	要望	地震等の被害予測をもとに、被害軽減策を実施する必要があり、海岸施設の耐震化等進捗を図るため、御津地区海岸の堤防補強・改修の早期整備
	現状	平成27年12月25日付けで三河湾・伊勢湾沿岸海岸保全基本計画が変更され、総合的な防災対策が進められることになった。西方・御馬地区海岸の600mが第3次あいち地震対策アクションプランの補修・補強区間に位置付けられているが、事業実施には至っていない状況である。
③ 臨港道路東三河臨海線の早期実現	要望	東三河全体の港湾交通の円滑化に不可欠な、臨港道路東三河臨海線の早期整備
	現状	港湾計画に位置づけられているが、事業化には至っていない状況である。
④ 国道23号蒲郡バイパス整備	要望	三河・名古屋・衣浦の臨海工業地帯など重要な拠点を結び、内陸や臨海工業団地にアクセスするための重要な国道23号蒲郡バイパスの早期整備
	現状	平成25年度から豊川市区間6.6kmの用地取得に着手し、早期開通に向け用地取得を推進している状況である。平成28年3月より工事に着手しており、平成30年度は、豊沢トンネル、高架橋下部工等の工事を予定している。
⑤ 設楽ダム本体工事早期着工	要望	東三河地域の慢性的な水不足及び豊川の氾濫による洪水被害に対応するため、設楽ダム本体工事の早期着工
	現状	付替県道設楽根羽線および県道瀬戸設楽線の本線工事やダム本体工事のための資材搬入路整備工事を進めている。平成28年度から転流工建設(L=560m)に着手しており、平成30年度までの完了を予定している。